

平成25年6月28日

特定非営利活動法人 動物実験の廃止を求める会(JAVA)
理事長 長谷川 裕一 様

プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン株式会社
広報渉外本部

化粧品等動物試験に関する回答（補足）

前略、いつもお世話になってます。

標記の件、先般ご質問をいただいております、代替法の開発や活用・普及に関する 当社の日本での主な活動について、下記の通りご説明いたします。 当社の動物試験の廃止・削減に向けた活動について、ご理解賜れば幸いです。

回答に時間がかかり申し訳ございませんでした。 今後ともよろしく願いいたします。

草々

記

- ① 厚生労働省主管の厚生労働科学研究における『医薬部外品の製造販売承認における安全性に関する資料のあり方検討会』に参加。 産・官・学共同のチームにより、最新の知見に基づいた医薬部外品の製造販売承認における代替法利用の可能性研究を行いました。
- ② JaCVAM(日本動物実験代替法評価センター)の第三者評価委員会へ参加。 産・官・学共同のチームにより、国際的に開発されている代替試験法が日本の法規制のもとにおいて利用可能か検証し、それを提案することで、代替法の普及に積極的な貢献を行っております。
- ③ 上記の活動に加え、長年に渡り日本化粧品工業連合会 動物実験代替専門委員会はじめ、代替試験法の開発や普及促進に関わる委員会や学会での活動を通じて、行政、学術、一般の方々への理解ならびに受入に向けた働きかけを続けています。 また、国際的には、P&Gグループが代替法の開発を主導的に進めるとともに、それらの代替方法についての発表や行政的な受け入れに向けた活動も行っており、今後も積極的に続けてまいります。

以上